

# にしん中小企業景気動向調査レポート [令和5年6月度調査]

令和5年8月発行

令和5年4月～6月実績と令和5年7月～9月予想

※調査期間 令和5年6月1日～7日

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
599	653	122	467	209	86	2,136

<全体の景況>

## 当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R5/3	-7.9	-5.7	6.1	3.5	-14.8	8.2	-3.2
R5/6	-6.3	2.2	-0.8	3.9	-1.9	5.8	-0.1
R5/9	-5.4	5.4	-2.5	2.2	0.5	3.5	0.7

## 当期売上額判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R5/3	6.6	6.1	7.6	6.4	-1.1	6.6	6.5
R5/6	6.5	11.4	11.5	3.6	11.5	8.1	7.8
R5/9	5.2	10.8	8.2	6.2	7.3	7.0	7.6

## 当期収益判断D.I.

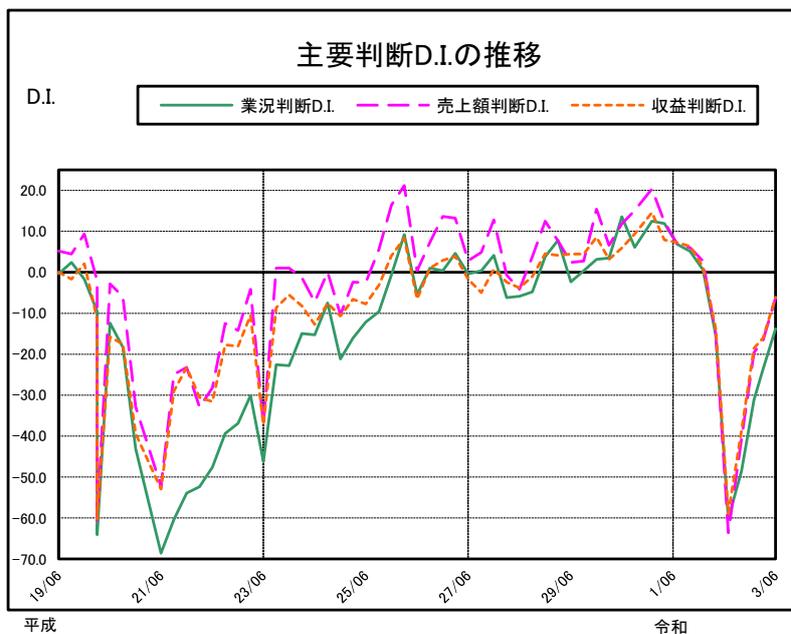
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R5/3	-1.6	3.6	4.5	2.3	-12.5	6.6	1.6
R5/6	0.0	6.5	0.0	0.4	4.3	4.7	2.5
R5/9	0.3	7.2	0.0	1.3	4.4	3.5	3.0

### 【4月～6月実績】

・当期業況判断D.I.は▲0.1(前期比+3.1)、当期売上額判断D.I.は7.8(同+1.3)、当期収益判断D.I.は2.5(同+0.9)といずれも改善した。

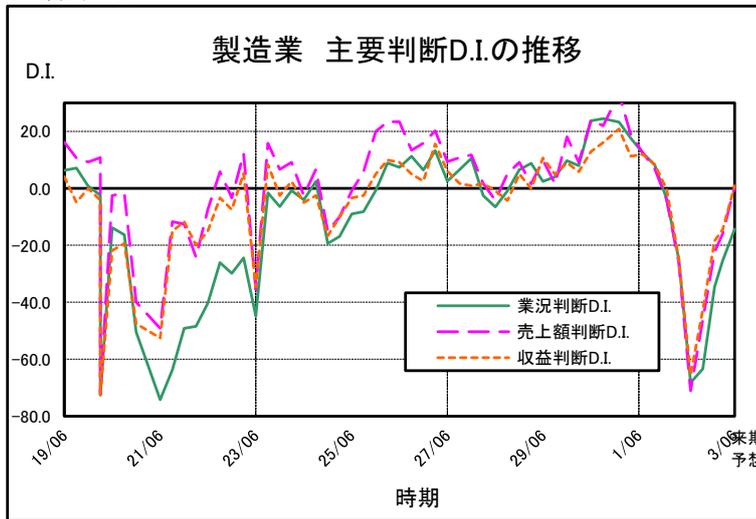
### 【7月～9月予想】

・業況判断D.I.は0.7(当期比+0.8)、売上額判断D.I.は7.6(同-0.2)、収益判断D.I.は3.0(同+0.5)となった。



\*D.I.は「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める割合から、「減少」(下降)したとする割合を引いて算出。

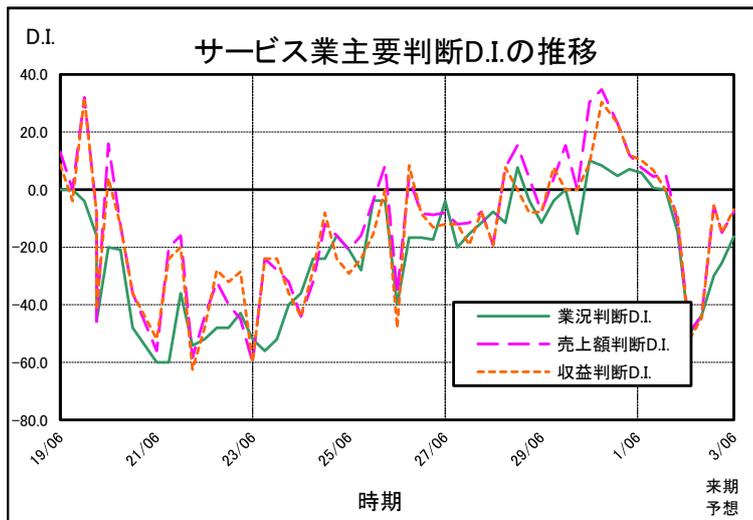
< 業種別 >



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R5/3	-7.9	6.6	-1.6
R5/6	-6.3	6.5	0.0
R5/9	-5.4	5.2	0.3

< 製造業 >

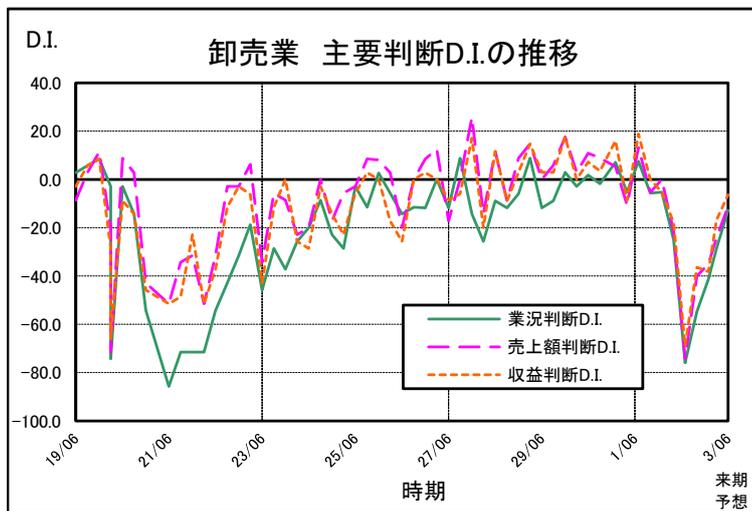
- ・当期業況判断D.I.は▲6.3(前期比+1.6)、当期売上額判断D.I.は6.5(同-0.1)、当期収益判断D.I.は0(同+1.6)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲5.4(当期比+0.9)、売上額判断D.I.は5.2(同-1.3)、収益判断D.I.は0.3(同+0.3)となった。
- ・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く47.1%、次いで”原材料高”を挙げる企業が26.0%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が21.2%であった。
- ・当面の重点経営施策として”販路を広げる”を挙げる企業が最も多く58.3%、次いで”経費を節減する”を挙げる企業が57.9%、そして”人材を確保する”を挙げる企業が13.5%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R5/3	-5.7	6.1	3.6
R5/6	2.2	11.4	6.5
R5/9	5.4	10.8	7.2

< サービス業 >

- ・当期業況判断D.I.は2.2(前期比+7.9)、当期売上額判断D.I.は11.4(同+5.3)、当期収益判断D.I.は6.5(同+2.9)といずれも改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は5.4(当期比+3.2)、売上額判断D.I.は10.8(同-0.6)、収益判断D.I.は7.2(同+0.7)となった。
- ・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く30.3%、次いで”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が24.5%、そして”人手不足”を挙げる企業が23.1%であった。
- ・当面の重点経営施策としては”経費を節減する”を挙げる企業が最も多く44.4%、次いで”販路を広げる”を挙げる企業が40.3%、そして”宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が19.9%であった。



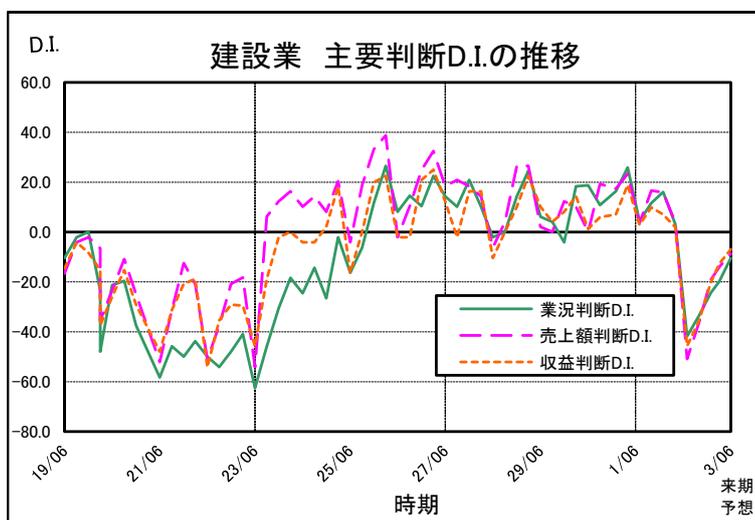
卸売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R5/3	6.1	7.6	4.5
R5/6	-0.8	11.5	0.0
R5/9	-2.5	8.2	0.0

<卸売業>

・当期業況判断D.I.は▲0.8(前期比-6.9)、当期売上額判断D.I.は11.5(同+3.9)、当期収益判断D.I.は0(同-4.5)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲2.5(当期比-1.7)、売上額判断D.I.は8.2(同-3.3)、収益判断D.I.は0(同±0)となった。

・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く36.9%、次いで”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が28.7%、そして”人手不足”を挙げる企業が18.0%であった。  
 ・当面の重点経営施策としては“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く59.0%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が45.1%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が12.3%であった。



建設業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R5/3	3.5	6.4	2.3
R5/6	3.9	3.6	0.4
R5/9	2.2	6.2	1.3

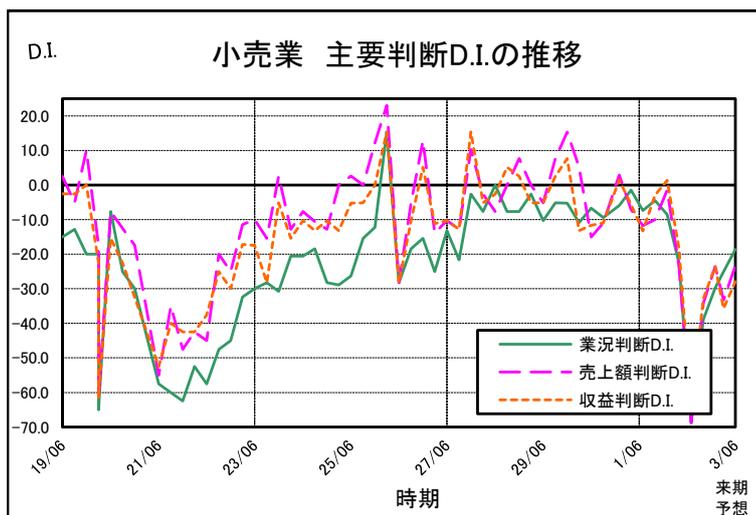
<建設業>

・当期業況判断D.I.は3.9(前期比+0.4)、当期売上額判断D.I.は3.6(同-2.8)、当期収益判断D.I.は0.4(同-1.9)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は2.2(当期比-1.7)、売上額判断D.I.は6.2(同+2.6)、収益判断D.I.は1.3(同+0.9)となった。

・経営上の問題点として”材料価格の上昇”を挙げる企業が最も多く32.3%、次いで”売上の停滞・減少”を挙げる企業が30.8%、そして”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が28.3%であった。

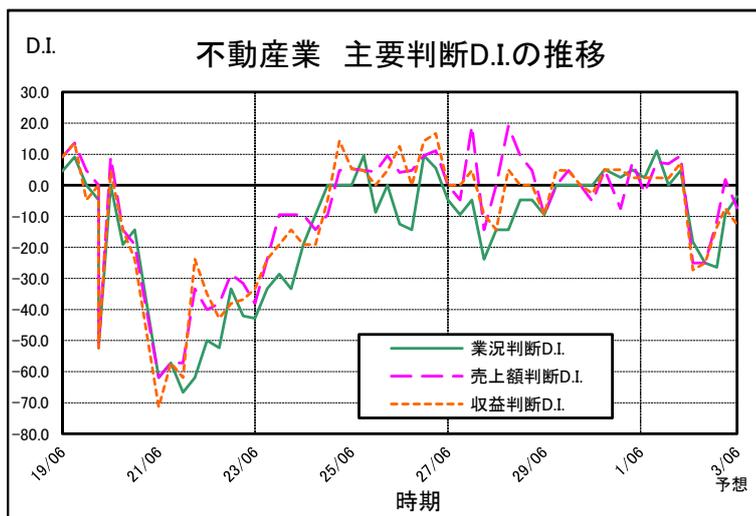
・当面の重点経営施策として”販路を広げる”を挙げる企業が最も多く53.1%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が52.5%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が20.3%であった。



小売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R5/3	-14.8	-1.1	-12.5
R5/6	-1.9	11.5	4.3
R5/9	0.5	7.3	4.4

<小売業>

- ・当期業況判断D.I.は▲1.9(前期比+12.9)、当期売上額判断D.I.は11.5(同+12.6)、当期収益判断D.I.は4.3(同+16.8)といずれも改善した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は0.5(当期比+2.4)、売上額判断D.I.は7.3(同-4.2)、収益判断D.I.は4.4(同+0.1)となった。
- ・経営上の問題点として”売上の停滞・減少”を挙げる企業が最も多く43.1%、次いで”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が27.3%、そして”利幅の縮小”を挙げる企業が17.7%であった。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く49.8%、次いで“品揃えを改善する”を挙げる企業が30.1%、そして“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が29.2%であった。



不動産業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R5/3	8.2	6.6	6.6
R5/6	5.8	8.1	4.7
R5/9	3.5	7.0	3.5

<不動産業>

- ・当期業況判断D.I.は5.8(前期比-2.4)、当期売上額判断D.I.は8.1(同+1.5)、当期収益判断D.I.は4.7(同-1.9)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は3.5(当期比-2.3)、売上額判断D.I.は7.0(同-1.1)、収益判断D.I.は3.5(同-1.2)といずれも悪化する見通しとなった。
- ・経営上の問題点として”商品物件の不足”を挙げる企業が最も多く19.8%、次いで”同業者間の競争の激化”を挙げる企業が18.6%、そして”売上の停滞・減少”を挙げる企業が17.4%であった。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く29.1%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が22.1%、そして“情報力を強化する”を挙げる企業が17.4%であった。